

かすがい



道風くん

市議会 だより

令和6年 第3回定例会 (6月17日～7月4日)

第**130**号
2024年(令和6年)9月

もくじ

議案の概要……………2
一般質問……………4

表紙写真募集中 詳しくは8ページへ



「展示を見上げる息子」

文化フォーラムで開催されていた、小松宏誠さんの展示を見に行きました！
子どもでもわかる壮大さで、見入っていました！

撮影者：落合 璃乃 撮影場所：文化フォーラム春日井

議案の概要

今定例会では、令和6年度補正予算案2件のほか、条例案8件、一般議案17件、報告21件、人事案件4件、議員提出議案1件が提出されました。（議案の中から一部ピックアップして掲載しています。）

第48号議案

令和6年度一般会計補正予算
(第3号)

可決

『新型コロナウイルスワクチン定期接種事業』

補正額 4億6074万円

臨時特定接種として全額公費（無料）で実施されていた新型コロナウイルスワクチン接種が、令和6年度から秋冬の定期接種として開始されます。

対象者は次の方です。

①65歳以上の方

②60～64歳で重症化リスクの高い方（※）
接種費用は、原則自己負担あり。

（※）心臓、腎臓又は呼吸器の機能に障がいがあり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方

第50号議案

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

可決

本年1月1日に起こった能登半島地震等異常な自然現象や大規模な事故により災害が発生、または発生するおそれがある場合において職員が災害対策業務に従事した場合の特殊勤務手当としての危険手当を新設するものです。

手当の一例として、市外に派遣されて行う災害対策業務の場合は日額2160円、深夜の場合は3240円が支給されます。施行は公布の日とし、能登半島地震への派遣にも対応できるよう

令和6年1月1日から適用になります。

第52号議案

市税条例の一部を改正する
条例について

可決

市民税、固定資産税及び都市計画税において、一定の条件を満たせば減免すると規定されていて、減免を受ける者はそのための手続きをしなければならないとなっています。しかし、地震や豪雨など、大災害が発生した場合には手続きすることと自身が困難な状況が予想されます。そのような時、減免を受けようとする者が手続きをしなくても市長の判断で減免できるように改めるものです。

第53号議案

個人番号の利用及び
特定個人情報提供に関する
条例の一部を改正する条例について

可決

生活保護受給世帯の子どもは高校を卒業した後、大学などに進学したり、就職し独立すると生活保護の対象から外れます。これまで、大学などへ進学した際には、新生活に向けての費用支援として「進学準備給付金」が支給されていましたが、就職した場合にも同様の支援が必要であると、令和6年4月の生活保護法の一部改正で就労に向けた準備金の支給も盛り込まれました。

それに伴い、「進学準備給付金」の名称が「進学・就職準備給付金」に改められたことから、本条例においても名称変更

更に係る規定の整備を行うものです。

第54号議案

手数料条例の一部を改正する
条例について

可決

子育て中の保護者が仕事と育児の両立を可能とするため、病後児保育に加え、病気になった子どもを病院において一時的に保育することができ病児保育を新たに実施することから、その手数料を病後児保育と同じ一日2000円以内で市長が定める額とするものです。

第55号議案

家庭的保育事業等の設備及び
運営に関する基準を定める条例の
一部を改正する条例について

可決

国の基準の一部改正に伴い、小規模保育事業所や事業所内保育事業所の保育士等の配置基準を改定するものです。

満3歳児以上満4歳未満の児童

おおむね20人につき1人以上

↓
おおむね15人につき1人以上

満4歳以上の児童

おおむね30人につき1人以上

↓
おおむね25人につき1人以上

第56号議案

名鉄小牧線春日井駅東口新設
事業に関する工事の基本協定
について

可決

名鉄小牧線春日井駅東口新設事業に関する工事の基本協定を締結するもの

です。協定金額は42億3300万円。協定の相手方は名古屋鉄道株式会社で、工事内容は、次の通りです。

自由通路（橋長39m・幅員4m）

駅施設（東口駅舎新設・西口駅舎

移設・ホーム相対式化）

第57号議案

消防自動車の取得について

可決

災害対応特殊消防ポンプ自動車2台を更新し、消防署・東出張所に配備するものです。取得金額は、2台で9757万円です。

今回導入する車両は1200ℓの水を搭載でき、中型車であり機動力もあるため火災時の初動対応の機能性が向上します。

議員提出第3号議案

災害発生時における信頼性の
高い情報連携体制の構築への
支援を求める意見書

可決

現在、インターネット上には膨大な情報やデータが流通しているが、そこでは事実と異なる偽情報や誤情報が流れる事もあり、適切な対処が必要である。

特に、災害発生時における情報は多くの人の命に直結する重要なモノであり、救援活動を大きく阻害するような偽情報の拡散を防止する事は喫緊の課題となっている。

よって政府に対し、災害発生時にお

議案の説明の録画
(YouTube)はこちら

6月17日



7月4日



※補正額は、1万円未満を切り捨てて表示しています。

また、任期満了に伴い、人権擁護委員に安藤久良氏、伊藤敬氏、佐藤裕子氏の推薦を了承しました。

同意しました。
固定資産評価員に阿部孝志氏の選任に同意しました。

人事案件

(意見書を要約して掲載しています。)

総務大臣 デジタル大臣
国土交通大臣
内閣総理大臣 内閣官房長官
宛先

意見書を提出する。

以上、地方自治法第99条の規定により、

一、正確な情報を発信する公的情報サイトや政府認定のアプリケーション等、

策を促す気象防災アドバイザーの自治体への配置支援の充実を図ること。

一、リアルタイムでの国と地方自治体の災害情報共有体制を整備すると同時に、適切な情報分析と迅速な対策を促す気象防災アドバイザーの自治体への配置支援の充実を図ること。

一、IoTセンサーやドローンを活用して、リアルタイムでの国と地方自治体の災害情報共有体制を整備すると同時に、適切な情報分析と迅速な対策を促す気象防災アドバイザーの自治体への配置支援の充実を図ること。

一、情報発信者や情報発信機器の事前登録等により、情報の信頼性を担保し、現場からの正確な情報を収集し活用する情報連携環境を整備すること。

一、情報発信者や情報発信機器の事前登録等により、情報の信頼性を担保し、現場からの正確な情報を収集し活用する情報連携環境を整備すること。

る信頼性の高い情報連携体制の構築に向けての積極的な支援の推進を求める。

◆議案等の議決結果
議案

議決結果	議案番号	件名
補正予算案 2件		
可決(全員)	第48号議案	令和6年度一般会計補正予算(第3号)
可決(全員)	第49号議案	令和6年度公共下水道事業会計補正予算(第1号)
条例案 8件		
可決(全員)	第50号議案	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
可決(全員)	第51号議案	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
可決(全員)	第52号議案	市税条例の一部を改正する条例
可決(全員)	第53号議案	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
可決(全員)	第54号議案	手数料条例の一部を改正する条例
可決(全員)	第55号議案	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
可決(全員)	第56号議案	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
可決(全員)	第57号議案	尾張都市計画事業勝川駅南口周辺土地区画整理事業施行条例を廃止する条例
一般議案 17件		
可決(全員)	第58号議案	鷹来公民館大規模改修工事(建築)の請負契約
可決(全員)	第59号議案	鷹来公民館大規模改修工事(機械)の請負契約
可決(全員)	第60号議案	中央公園グラウンド改修工事の請負契約
可決(全員)	第61号議案	前高グラウンド改修工事の請負契約
可決(全員)	第62号議案	名鉄小牧線春日井駅東口新設事業に関する工事の基本協定

議決結果	議案番号	件名
可決(全員)	第63号議案	宮南橋架替工事の請負契約
可決(全員)	第64号議案	庄内川桜佐排水樋管撤去工事の請負契約
可決(全員)	第65号議案	消防自動車の取得
可決(全員)	第66号議案	味美小学校リニューアル工事(建築)の請負契約
可決(全員)	第67号議案	味美小学校リニューアル工事(電気)の請負契約
可決(全員)	第68号議案	味美小学校リニューアル工事(機械)の請負契約
可決(全員)	第69号議案	篠木小学校リニューアル工事(建築)の請負契約
可決(全員)	第70号議案	篠木小学校リニューアル工事(電気)の請負契約
可決(全員)	第71号議案	篠木小学校リニューアル工事(機械)の請負契約
可決(全員)	第72号議案	東部中学校リニューアル工事(建築)の請負契約
可決(全員)	第73号議案	東部中学校リニューアル工事(電気)の請負契約
可決(全員)	第74号議案	東部中学校リニューアル工事(機械)の請負契約
人事案件 4件		
同意(全員)	第75号議案	固定資産評価員の選任の同意
異議なし(全員)	諮問第1号	人権擁護委員の推薦
異議なし(全員)	諮問第2号	人権擁護委員の推薦
異議なし(全員)	諮問第3号	人権擁護委員の推薦
議員提出議案 1件		
可決(多数)	第3号議案	災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書

市議会のホームページで議案の詳細をご覧ください。

<https://www.city.kasugai.lg.jp/shisei/gyousei/1008142/index.html>



◆議案等の表決結果

会 派 名	春日井自民クラブ					公明党				自由クラブ				市民クラブ			橙進クラブ			共産党			無会派										
氏 名	梶田 正直	堀尾 国大	前田 学	長谷川達也	長縄 典夫	大村 勝人	日比野成利	小林 宣子	石飛 厚治	田口 佳子	金澤 陽貴	梶田 高田	加納 満	林 克巳	友松 孝雄	鈴木 宏幸	伊藤 杏奈	村上慎二 一郎	小原 哉	鈴木 貴之	鈴木 秀尚	加藤 貴章	鬼頭 宏明	石田 裕信	原田 祐治	伊藤 建治	長谷 和哉	奥村 昇次	安達 保子	鈴木 昭紀	小嶋百合	犬塚 貴司	
議案等番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議提第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

※議案について賛否の分かれた案件のみ掲載しています。
※共産党=日本共産党春日井市議会議員団の略です。

※「○」…賛成、「×」…反対、「―」…棄権等の意味です。
※議長は採決に加わりません。

令和6年7月4日現在

一般質問

今回の定例会では、18人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、40項目の質問を行いました。



道風くん

市政全般にわたる問題について質問します

一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。

各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)

質問の様子を
録画(YouTube)で
ご覧いただけます。

1 災害時要援護者支援制度について

質問者 無会派 奥村 昇次

担当 福祉政策課



録画 ▶

【質問】死者282名の能登半島地震を始め、阪神淡路大震災、東日本大震災等震度7以上の多くの大地震が南海トラフ大地震の対象エリア以外で発生し、東海地方で大地震がいつ発生してもおかしく無い状況の中、高齢者、障害者、介護認定者等を支援する「災害時要援護者支援制度」の市の現状、要援護者要件の明確化と支援者受皿の区・町内会の負担軽減策について問う。

【答弁】災害時要援護者の登録者数は922名で、87.1%の方が区・町内会に加入しています。この制度は希望者の登録制度を採用しており、避難支援が必要な方の個々の状況や障がいの特性などに配慮が必要なため、年齢や等級で限定し、絞り込みを行う考えはありません。災害時の支援体制を構築するためには区・町内会の協力が不可欠であり、要請に応じて地域住民の方への説明に市職員が直接お伺いするなど、制度の理解促進に努めています。



2 孤独・孤立対策について

質問者 橙進クラブ 鈴木 たかゆき

担当 地域共生推進課



録画 ▶

【質問】年齢や性別を問わず孤独や社会的孤立は、ひきこもりや鬱、自殺という社会問題になっている。全ての市民の孤独・孤立問題を解決する活動が必要である。本市の居場所づくりの支援、人と地域を繋ぐ社会的処方の役割を担う人材の養成、社会的孤立を防ぐ仕組みの構築について、本市の考えを聞かせてください。

【答弁】居場所づくりの支援は、高齢者や障がい者の居場所や交流の場づくりのほか、親子の交流や不登校、ひきこもりの居場所づくりを行う団体に対し、運営費などの補助を行っています。民生委員や地域福祉包括化推進員、地域福祉コーディネーターなど、人と地域のつながりを支援する多様な支援者との連携を一層強化するとともに、他自治体の人材養成研修などの先進事例を参考に、重層的な支援体制の構築を進めます。



3 小学生の登下校時の見守り活動について

質問者 橙進クラブ 鈴木 秀尚

担当 学校教育課



録画 ▶

【質問】共働き世帯の増加や就業年齢の高齢化等、見守りボランティアが減少しており、登下校時の安全対策の見直しが必要だと感じている。①現在の状況や過去との比較について問う。中央教育審議会の答申では「登下校に関する対応」は学校以外が担うべきとしているが、②答申に対する本市の考え方について問う。③ボランティア数減少に対する市の対応について問う。

【答弁】①登下校時の見守りは、子ども応援団や保護者、PTAなどにより実施されていますが、活動の減少が感じられています。②登下校の対応は、学校や教員の本来業務ではなく、市や保護者など学校以外が担うべきと考えますが、児童の生命や安全を守るため、学校が関係機関と連携を強化し、対応することも重要です。③関係部署が連携し、様々な機会に参加を呼びかけるとともに、広報やホームページなどでPRや募集を行い、活動の活性化を図ります。



4 水道料金のクレジットカード決済について

質問者 無会派 犬塚 たかし

担当 上下水道業務課



録画 ▶

【質問】令和6年度から1回上限額を10万円とする水道料金のクレジットカード決済が始まり、支払方法の利便性が高まりました。市の負担する収納手数料は、決済金額の1%であります。1件20円の口座振替と比べると、負担増になる可能性があり、上下水道の経営環境の厳しさが増す中、限度額を下げた方が手数料を低く抑えられると思うが、本市の考え方を問う。

【答弁】限度額を下げることにより、クレジットカード決済ができず、納付書でのお支払いとなるケースが増加します。使用水量の多寡によって支払い方法がその都度変更となることは、クレジットカード決済の継続を望まれる方にとってサービスの低下に繋がることから、上限を10万円と設定し、利便性の向上に努めることとしています。



5 子宮頸がん対策のための検診と予防について

質問者 公明党 日比野 なるとし

担当 健康増進課

録画 ▶



【質問】子宮頸がんは若年層で増加傾向であり、早期発見とHPVワクチン接種が重要である。子宮頸がん検診の受診率向上の為、自宅で行えるHPVセルフチェックの導入についての見解とHPVワクチン接種の積極勧奨の差し控えにより接種機会を逃した世代に対するキャッチアップ接種の接種期限が迫っている中、その接種率向上への取組みについて問う。

【答弁】HPVセルフチェックは、自宅で手軽にでき、子宮頸がん検診の受診につながる効果が期待できますが、現在、国の検討会でHPV検査単独法導入が検討されており、国の動向を注視し、必要な調査研究を行っていきます。キャッチアップ世代の接種率向上の取組みは、接種未完了者全員に接種勧奨ハガキを郵送し、広報春日井や市ホームページのほか、ポスターを公共施設や医療機関に掲示するなど、積極的な広報活動に努めています。

【その他の質問事項】 ■こども誰でも通園制度(仮称)について

6 障がいに対する理解・啓発への取組みについて

質問者 公明党 大村 まさと

担当 障がい福祉課

録画 ▶



【質問】周囲に配慮を必要としている事を知らせ、支援を得やすくする為のヘルプマークとヘルプカードがありますが、利用者が必ずしもその恩恵を受けていないといった現状が伺えます。ヘルプマークとヘルプカードの普及啓発・理解促進と併せながら、ヘルプシールといった新たなコミュニケーション支援ツールの活用も今後必要かと考えますが、本市の見解を伺う。

【答弁】ヘルプマーク・ヘルプカードについては、学校における福祉教育の場やデジタルサイネージを活用するとともに、春日井商工会議所と連携し、事業者に向けた説明の機会を確保するなど、周知啓発の方法を検討します。ヘルプシールについては、障がいに対する正しい理解の促進がより一層図られるものと考えており、他自治体の先進事例のほか、障がいのある人などのご意見も伺いながら、調査研究を行います。

【その他の質問事項】 ■AED(自動体外式除細動器)の更なる活用について

7 障がいのある人への合理的配慮について

質問者 自由クラブ 金沢 はるき

担当 障がい福祉課

録画 ▶



【質問】法改正に伴い事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されました。合理的配慮を促す上での市の役割、手話言語条例制定の必要性、災害時の情報伝達として動画配信の際に字幕や手話通訳者を設置すること、電話リレーサービスの更なる周知、個別避難計画における聴覚に障がいがある方へのコミュニケーション手段についてのお考えを伺います。

【答弁】合理的配慮の提供は、様々な機会を通じて必要かつ合理的な配慮が図られるように促します。手話言語条例は、地域共生社会を実現するためにも重要であり、必要な調査研究を行います。災害時の情報伝達は、動画配信において、字幕表示での対応を検討します。電話リレーサービスは、普段から利活用の促進を図ることで、周知啓発に努めます。個別避難計画の作成は、介護支援専門員などと連携し、円滑なコミュニケーションが図られるように努めます。



8 市民病院急性期医療の状況について

質問者 無会派 はせ かずや

担当 管理課

録画 ▶



【質問】地域医療研修において、急性期病院の多くは入院費の算定に包括医療費支払い制度(DPC)を採用しており、診療報酬の取得内容によって影響を受けるとのことであった。そこで東海北陸厚生局のHPを確認すると、令和5年度に急性期充実体制加算など数多くの診療報酬項目を取得している事がわかったが、これらの詳細と病院収入への影響や取組について伺う。

【答弁】各診療報酬の項目ごとに、年間の全身麻酔による手術件数や緊急手術の件数、医療従事者の人員配置など、様々な基準が定められており、令和5年度に新たに取得した診療報酬項目は12件で影響額は約3億5千万円の収入増となっています。市民病院が診療報酬を確保するための取組については、診療報酬改定の動向や他の医療機関の診療情報の収集、職員の技能向上に資する研修支援などを実施しています。



9 防災・減災対策について

質問者 公明党 いしとび 厚治

担当 総務課・市民安全課・建築指導課

録画 ▶



【質問】釜石の奇跡のように、日頃から「防災・減災対策について」意識することで、突然の災害に遭遇しても、混乱に陥ることなく想定外の事態にも冷静に、迅速に「生き残るための行動」に繋げることができるように考える。これらを踏まえ①災害発生時の職員・来庁者の避難について②避難者の把握について③住宅の耐震化について本市の考えを問う。

【答弁】①令和5年度は、自衛消防組織を中心とした災害対応訓練を実施していますが、今後、本庁舎からの避難訓練を実施していきます。②避難者が指定避難所で避難所利用者登録票を記入することで、今後の滞在場所や食物アレルギーの有無等、被災者全体の状況が把握できます。③各種補助制度による支援に加え、低コスト耐震化工法や耐震シェルターの紹介等、それぞれの事情に応じた対応を行っていきます。



10 記念日の扱いについて

質問者 無会派 小嶋 小百合

【質問】多様な性にYESの日、国際女性デー、パープルリボン月間など、一年に多くの記念日があり、全国でライトアップなどのイベントが行われています。市役所は愛知県内でも屈指の、交通量が多い国道19号沿いにあります。投光設備の電気代も寿命も以前に比べれば格段に良くなっています。春日井市でも記念日の啓発のため本庁舎のライトアップを実施しませんか。

担当 総務課・多様性社会推進課

録画 ▶



【答弁】例えば11月の「パープルリボン月間」の期間中には、活動拠点であるレディアンかすがいにおいて、パープルイルミネーションの点灯を始めとした啓発を実施しています。本庁舎のライトアップは、電気使用量抑制の観点とフィルム設置による火災発生の懸念から実施していません。これらの課題解決には、白熱電球のLED化が必要であり、多額の費用が生ずることから今後も考えていません。

【その他の質問事項】 ■同性パートナーに対する事実婚としての認定について
■春日井市ホームページについて ■条例・要綱等の見直しについて
■戸籍・住民票に関して

11 リニア中央新幹線工事について

質問者 共産党 伊藤 建治

【質問】瑞浪市で水枯れが発生。本市でも井戸水の濁りや水位の低下が起きており、水枯れを心配している。地下水位の変動はどうか。水枯れが発生したらどう対応するのか。24時間実施するシールド工事の夜間騒音振動への懸念もある。①対策計画の策定、②観測井戸の水位やトンネル湧水のデータ、③夜間の工事の中止、これらをJR東海に求める考えについて問う。

担当 都市政策課・環境保全課

録画 ▶



【答弁】①水枯れについての行動計画や対策計画の策定を事業者に求めることについては、今回の岐阜県において発生した事象に対する事業者の対応等状況を注視していきます。②観測井戸水位及びトンネル湧水のデータについては、すでに事業者に対し、定期的な提供を要請しています。③夜間工事に関して苦情申立てがあった際には本市で状況調査を行い、適切な対応を事業者に要請していきます。

【その他の質問事項】 ■神屋地下堰堤について ■PFAS汚染について
■サピエ図書館について ■修学旅行について ■小中学校への緊急連絡方法について

12 小中学校の教育環境について

質問者 無会派 すずき あきのり

【質問】近年の社会の変化により、不登校の児童生徒数は爆発的に増加しています。当市においては令和5年度は前年度から約200人増え、小学校2校分に相当する1028人となりました。学校教育のあり方を見直し、特色ある学校づくりを進める考えと、不登校当事者への学びの場として「学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）」を設置する考えについて問う。

担当 学校教育課

録画 ▶



【答弁】不登校児童生徒の教育機会を確保するためには、個々の状況に応じた選択肢があることが望ましく、「学びの多様化学校」も、その一つと認識しています。しかし、その設置には、メリットを十分に検証し把握した上で、専用施設や専門性の高い教員の確保、特別な教育課程の編成などの課題を解決する必要があります。今後、小中学校の適正規模等を検討する中で、国や県の動向を注視し、他自治体を参考に調査研究していきます。



13 がんにより死亡するリスクを減らすためのがんの早期発見に向けた取り組みについて

質問者 市民クラブ 小原 はじめ

【質問】医療技術の進歩によって一部のがんでは、早期発見・早期治療が可能となり「がん検診」を習慣化し重症化を防ぐことが重要になっている。本市のがん検診受診率が目標値に達していない中、5歳刻みの年齢にがん検診無料クーポン券の送付や500円で受診できる費用負担への見直しなど、今後の受診率向上へ向けた取り組み、市のがん検診費用負担拡大を問う。

担当 健康増進課

録画 ▶



【答弁】がん検診の受診費用は、各自治体で独自に設定していますが、無料クーポンの配付や自己負担額の見直しは、検診体制や費用対効果の検証など、様々な角度から慎重な判断が求められます。今後も、国が推奨する行動変容を促すための「ナッジ理論」など、他自治体で実践している先進的な取組を参考とし、がん検診の受診率の向上に向けて、より効果的な手段や改善方法について、必要な調査研究を行っていきます。

【その他の質問事項】 ■青少年の非行・被害防止について
■きれいで、豊かな水環境を守るために ■宅配便等の再配達防止で低炭素型社会へ

14 自転車ネットワークの活用とサイクルアンドバスライドについて

質問者 市民クラブ 鈴木 ひろゆき

【質問】公共交通の利用者を増やすためのサイクルアンドバスライドについて、自転車の活用が有効と考えるが、本市におけるこれまでの自転車活用のための取り組みと、今後、サイクルアンドバスライドを推進する考えについてお伺いします。

担当 都市政策課

録画 ▶



【答弁】本市においては、JR及び名鉄の各駅において、無料又は有料の自転車等駐車場を確保し、サイクルアンドライドによる公共交通の利用促進と、自転車等の駐車について適正な管理を行っているところ。一方で、サイクルアンドバスライドについては、バスの停留所がある道路上に自転車等の駐車場を設置するスペースがないことや、管理上の問題があり、現時点において推進する考えはありません。

【その他の質問事項】 ■学校教育活動等における熱中症事故の防止について

15 福祉応援券について

質問者 共産党 石田 裕信

【質問】福祉応援券は障がい者手帳をお持ちの方や難病の方などに社会参加の促進と生活支援を目的として支給されています。しかし、「券」という形式の為、おつりが出なかったり、対応した店舗でしか使えず、支給が始まり8年経つのに、未だに対応店舗が近くに無いという地域もあります。「券」ではなく、現金給付に切り替えて使いやすくしてはどうかお聞きします。

担当 障がい福祉課

録画 ▶



【答弁】福祉応援券の登録店舗については、今後も、市内各地において登録店舗が増えるように、事業者の方への周知啓発を行いながら、障がいのある人がより福祉応援券を利用しやすい環境の整備に努めます。現金給付については、慎重に判断する必要があると考えており、今後、本市の政策全体のあり方を検討する中で、その給付方法や目的、効果などについて必要な調査研究を行っていきます。

【その他の質問事項】 ■生活保護世帯における熱中症対策について
■新紙幣への対応について ■就労支援事業における利用料について

16 生活道路の安全対策について

質問者 共産党 原田 祐治

【質問】生活道路の交通安全対策には、自動車の速度を時速30キロ以下に抑えることと、左側通行など自転車の交通ルールが守られることが重要。現在の生活道路の安全対策の取り組みについて問う。また、京都市では自転車のピクトグラムと矢羽根を生活道路にペイントしたところ事故が激減した。春日井市でも同様の取り組みを実施する考えについても問う。

担当 道路課

録画 ▶



【答弁】生活道路の安全対策として、交差点部のカラー塗装、区画線や防護柵設置など、交通安全施設の整備を実施しています。また、通学路には、グリーンベルトを設置するなど、子どもの安全に配慮した道路整備を行っています。生活道路における自転車ピクトグラムと矢羽根による安全対策の取り組みについては、国のガイドラインを参考にしながら、地域の課題やニーズ、交通状況などを踏まえ、設置について調査研究していきます。

【その他の質問事項】 ■自衛官募集事務にかかる募集対象者情報の提供について
■文化芸術活動を支援することについて ■難病患者への医療費助成について
■北部オンデマンドバスについて

17 いきがい創生部・市民活動支援センターの使命と成果について

質問者 公明党 田口 よしこ

【質問】①市民活動支援センターと社会福祉協議会ボランティアセンターの役割の違い、市民活動支援センターならではの成果②いきがいとなるべく市民活動の意気込みをどのようにアピールしていくのか、具体的取り組みと目標、移管後の職員の配置内訳、センターの機能等の変更について③市民活動団体とつなげるコーディネートなどの具体的な取り組みについてそれぞれ問う。

担当 市民活動支援センター

録画 ▶



【答弁】①前者は社会貢献活動の連携促進や団体活動の活性化、後者は市民に団体の斡旋を行います。成果として、団体のイベント参加人数や活動に興味を持つ若い世代が増加しました。②一人ひとりがいきがいを持って活動できるよう、団体の課題等を職員も共有するなどして協働のまちづくりを進めます。職員配置は1担当3名です。③センター利用者には対話による団体とのマッチングを、それ以外の方向けにパネル展やSNS等で情報発信をしています。



18 仮称「教育特区構想」の策定について

質問者 市民クラブ 村上 しんじろう

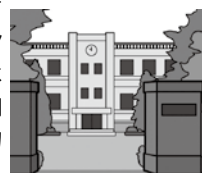
【質問】近年人手不足に苦しむ声が大きくなっており、本市も人口減少による影響に直面し始めている。この状況に合わせて、小中学校の適正規模等に関する基本方針などの見直しが必要となるが、見直しだけでなく小中一貫校、学びの多様化学校、インターナショナルスクールなど先進的教育を集約した教育特区を高蔵寺ニュータウンに設定する考えはないか問う。

担当 学校教育課

録画 ▶



【答弁】少子化や学校施設の老朽化など、学校を取り巻く環境が大きく変化する中、本年度から、小中学校の適正規模等の検討を進めています。特色ある学校づくりについても、調査研究していくことはとても重要なことであり、ニュータウン地区を含め、地域の実情にあった学校づくりにつながっていくものと考えています。学校教育の質の向上は、未来を担う子どもたちへの投資と考え、魅力ある教育を提供していきたいと考えています。



議会中継(YouTube)視聴のご案内 —QRコードの読み取り方—

カメラを起動し、紙面のQRコードにスマートフォンを向けてください。

かすがい市議会だよりでは、議会中継(YouTube)を視聴していたけよう、QRコードを掲載しています。ぜひご覧ください。

QRコードの読み取り方

1. スマートフォンのカメラを起動
2. カメラをQRコードにむけて読みとる
3. ホームページが表示される

※機種によって操作方法が異なります。視聴には通信料がかかります。※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

委員会開催状況

令和6年第2回臨時会閉会後に行われた委員会は、次のとおりでした。

- 厚生委員会（6月3日）
報告事項
1 総合的な福祉拠点の整備について

令和6年第3回定例会中に行われた委員会・分科会は、次のとおりでした。

- 予算・決算委員会（6月19日）（6月28日）
- 文教経済委員会（6月21日）（7月4日）
- 厚生委員会・分科会（6月24日）
- 建設委員会・分科会（6月25日）
- 総務委員会・分科会（6月26日）

令和6年9月定例会予定

- ▽9月6日（金）10:00～ 本会議（提案理由説明）
- ▽9月10日（火）10:00～ 本会議（質疑、委員会付託）
（本会議終了後） 予算・決算委員会前期全体会
- ▽9月12日（木）9:00～ 文教経済委員会・分科会
- ▽9月13日（金）9:00～ 厚生委員会・分科会
- ▽9月17日（火）9:00～ 建設委員会・分科会
- ▽9月18日（水）9:00～ 総務委員会・分科会
- ▽9月24日（火）10:00～ 予算・決算委員会後期全体会
- ▽9月25日（水）10:00～ 本会議（一般質問）
- ▽9月26日（木）10:00～ 本会議（一般質問）
- ▽9月30日（月）10:00～ 本会議（採決）

※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

表紙写真募集

「かすがい市議会だより」の表紙をあなたの写真で飾ってみませんか

募集する写真

応募者本人が、春日井市内において概ね1年以内に撮影した未発表のもの

応募方法

応募フォームから応募、もしくは持参、郵送、Eメールにて写真（※）と所定の応募用紙を議事課まで提出してください。応募作品は原則返却しません。

※写真はA4サイズで印刷した場合に、被写体が鮮明に確認できるもの。

※Eメールで応募いただく場合、容量制限（本文と添付ファイルの合計3MB以下）があります。

3MB以上のデータで応募していただく場合は、応募フォームからご応募ください。

メールアドレス ▶ gikai@city.kasugai.lg.jp

応募締切

11月発行第131号表紙写真を9月4日まで受付しています。

お知らせ

編集の都合により公募写真以外の内容が表紙となる場合があります。

応募に関する詳細は春日井市議会ホームページをご覧ください。



編集後記

夏休みも残りわずかとなりました。今年は、夏の平和の祭典であるパリオリンピックピック2024及びパリパラリンピック2024が開催され、各競技、各種目において世界トップレベルの選手と日本人選手の活躍が、日本中に興奮と感動を与えてくれます。今年の夏もまだまだ暑い日が続くことが予想されますので、熱中症予防対策として「クーリングシエルト」を実施している公共施設を積極的に有効活用し、自分と自分の周りの人の命を守っていただきたいと思います。

全国住みたい街ランキング2024の全国ランキングにおいて春日井市が第100位にランクインしております。これからも春日井市の発展と市民の皆様の健康を願い、親しみやすく、分かりやすい市議会だよりをお届けできるように努めてまいります。

編集委員一同

■視覚障がいのある方に、本紙を音読した「声のかすがい市議会だより」（カセットテープ又はCD）を郵送します。事前に登録が必要です。ご希望の方はご連絡ください。

